

IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第23回)

娘のiPhone X動画投稿で解雇。その顛末

2017.12.15

アップルから最初のiPhoneが発売されて10周年。2017年9月12日(現地時間)、アップルのスペシャルイベントで「iPhone X(アイフォン・テン)」が発表された。全面ディスプレイ、裏面にガラスパネルを採用した特別デザイン、画期的な顔認証、ホームボタンの廃止など、アップルが開発した中で最も高度なテクノロジーを盛り込んだ。発表以来、大きな話題を呼んでいる。

iPhone Xの発売をみんなが心待ちにする10月21日、未発売のiPhone Xを手にする動画がYouTubeに公開された。実はこの動画、アップルのエンジニアの娘が投稿した。アップルの社員食堂で撮影され、iPhoneは父親が持つ検証用の実機と思われる。動画はすぐ削除されたものの、世界中に拡散してしまった。

アップルはこの父親を解雇したが、iPhone Xに対するみんなの期待に応えようとする娘、家族の思い出として撮影を許した父の立場など、スマホ+ネットで何でもすぐに世界中に知らせられるインターネット時代の世相と教訓がうかがえる事件だ。

なかなか買えないiPhone X

9月のスペシャルイベントでは、通常のラインアップのiPhone 8/8

Plusの発表とともに、最後に発表された。「デバイスそのものがディスプレイ」と紹介されたように、iPhone Xは、ほぼ全面を覆う5.8インチの有機ELディスプレイを搭載する。裏面はガラスパネルを採用、ワイヤレス充電規格のQiに対応した。それまでiPhoneに搭載されてきたホームボタンは廃止され、スクリーン下部に常にホームインジケータを表示。ホームインジケータを上にはスワイプしてホームに戻るといふ、他のiPhoneとは異なる操作体系だ。



アップルのiPhone Xの紹介ページ

また、従来のTouch ID(指紋認証)に代わり、3次元顔認識を用いた革命的な認証システム「Face ID」(顔認証)が採用された。これは新たに搭載されたTrueDepthカメラにより実現する。カメラも、背面レンズの広角側と望遠側の両方に手振れ補正機構が付いた。この「特別な」iPhone、64GBで11万2800円、256GBで12万9800円(いずれも税別、Apple Storeでの価格)と、値段も特別なものにもかかわらず、11月3日の発売には当日在庫目当ての行列ができた。

今回のiPhone Xは発売以来、需要に供給が追いつかない状態が続いた。執筆現在、まだ品不足が続く。ちなみに、アップルのオンラインストアでの待ちは1〜2週間程度と、かなり改善はされてきている。

ところで、iPhoneの通常のラインアップは、3G→3GS→4→4S→5→5s→6/6 Plus→6s/6s Plus→7/7 Plusと「S」の付くマイナーバージョンを経て、1つずつ数字を上げてきた。だが今回、通常ラインアップは7Sを飛び越して8となった。Xと同じく背面をガラスパネルにすることでワイヤレス充電に対応、「8」を名乗ったのは背面パネルの変更というところからだと思われるが、次は「8S」なのか「9」なのか、そして「X」があることでその次はどうなるかなど、興味は尽きない。

娘が投稿したのはどんな動画だったか… 続きを読む